

[No.50号 Matrix No.50\(July 1, 2005\)](#)

- *第86回例会（津波について・平成17年5月10日）関連記事
 - ・第86回例会概要 村上 馨
 - ・講演資料 津波について 小池 信昭
 - ・講演資料 津波と船舶係留 久保 雅義
 - ・トークと座談会講演資料 津波の事例 - 安政（嘉永）地震津波の石碑 井上 篤次郎
 - ・トークと座談会講演資料 津波と船 岡本 洋
 - ・「津波」例会の計画について 岡本 洋
 - ・講演「津波と船」への補遺と質問表へのコメント 岡本 洋
 - ・津波警報の伝達（含・関連意見交換） 大野 道夫 / 岡本 洋
 - ・津波に対する港内船舶の安全について 神田 修治
 - ・日本海中部地震による津波とその被害について 小林 建夫
 - ・「擁護壘」を見て思う（堺市大浜公園） 田中 籐八郎
 - ・資料と感想 幕末の津波教訓解説（産経新聞） 長尾 實三
- *造船屋のみた JR 西日本福知山線の脱線事故 赤木 新介
- *船と港湾で使用されているゴム製品 田淵 丈雄
- *淀川舟運の話題 枚方河川敷から天満橋 毛馬の閘門通過 寺田 政信
- *クルーズ(5) パナマ運河 廣澤 明
- *再び Human Error について 細田 龍介
- *会報（①次回例会案内 他）
- 裏表紙 編集後記 長尾 實三・神田 修治
- PR 神戸大学海事科学部 海事博物館
- PR 独立行政法人 海技大学校

[No.49号 Matrix No.49\(April 1, 2005\)](#)

- *第85回例会（海事クラスター・平成17年3月4日）関連記事
 - ・第85回例会概要 村上 馨
 - ・講演資料 海事クラスターの再構築について 赤塚 宏一
 - ・講演資料 日本の海事クラスター論議に対する韓国海運研究者の要望
- Maritime Japan, a Proud History, a Brilliant Future? 韓 鐘吉
 - ・講演資料 海運特区を神戸に作ろう！
- そして日本の外航海運の強化と船員雇用を創造しよう 岡田 紀代蔵
 - ・第85回例会 海事クラスター 企画について 神田 修治
 - ・海運基本法そして海洋国家基本法への想い 岡本 洋
 - ・「海洋クラスター都市構想、その理論と実践」について 田中 籐八郎
 - ・メガフロートを後押しする国家戦略の必要性 長安 たかし
- *紀行「海から環境を考える」 大塚 万紗子
- *船尾灯について 柴田 康彦
- *継体大王の棺の謎、棺の復元、古代船復元と実験航海 寺田 政信
- *クルーズ(4) 廣澤 明

*子どもたちとの海洋学習 宮脇 正明
*沖の鳥島のこと 山村 晋一郎
*会報 (①次回例会予定 他) *幹事リスト
*当財団通称名 [海洋政策研究財団]のお知らせ 海洋政策研究財団
*北極海関連 国際会議のご案内 海洋政策研究財団
*編集後記 裏表紙 神田 修治、長尾 實三
表紙見返し ・新刊書紹介 テクノリテラシーとは何か 寺田 政信
裏表紙見返し ・義援金募集 スマトラ沖大地震・津波被災地への義援金 IOI 日本支部

[No.48号 Matrix No.48\(January 1, 2005\)](#) 2005年新年号

*第84回例会 (海洋政策・平成16年11月11日) 関連記事
・第84回例会概要 村上 馨
・講演資料 (独) 海洋研究開発機構の目指すもの 堀田 平
・講演資料 International Ocean Institute について 大塚 万紗子
・MTS 第84回例会「海洋政策」について 長尾 實三
・船を使った学童への海洋教育 在田 正義
・海洋肥沃化実験装置「拓海」 大内 一之
・新聞記事 領海内に国籍不明潜水艦 産経新聞、h.16.11.10 より
・新聞記事 日本も試掘調査が急務だ 産経新聞、h.16.11.2 より
・新聞記事 海洋権益を守る姿勢貫け 産経新聞、h.16.12.26 より
*防災には神頼みか? 石田 憲治
*研究会に参加して 川村 四郎
*三菱製自動車の長〜いトラブル 齊藤 了文
*VLCC シンガポール海峡でのヒヤリ!!! 柴田 康彦
*私の博物館巡り 田淵 丈雄
*地球温暖化を考える (縄文海進/縄文海退の研究) 寺田 政信
*クルーズ(3) 廣澤 明
*会報 *幹事リスト *本研究会規約
裏表紙 編集後記 神田 修治
PR 独立行政法人 海洋研究開発機構について
PR 国際海洋研究所(IOI) 参加者募集

[No.47号 Matrix No.47\(December 1, 2004\)](#)

*第83回例会 (神戸空港・平成16年10月6日) 関連記事
・第83回例会概要 村上 馨
・講演資料 産学官連携による新産業創造-NIROの事業と神戸の発展 松井 繁朋 / 永井 千秋
・講演資料 神戸空港の建設概要 長谷川 憲孝
・MTS 第83回例会と神戸空港 長尾 實三
・港都に咲く花 神戸空港の話題から 本田 啓之輔
・神戸空港問題と海上安全 岡本 洋
・神戸空港の海への弊害 鷲尾 圭司
*海事クラスターの再構築について 赤塚 宏一

*許してよいのか「海賊国家」B国の所業 大橋 康人

*関電美浜原発での事故 齊藤 了文

*Bulk Carrier の安全運航 柴田 康彦

*「大水深」の壁 島村 好秀

*ISPS コードから想起する事など 城野 隆史

*舟、船について 田淵 丈雄

*新しい航路の開拓と新船型開発の提案 寺田 政信

*クルーズ(2) 廣澤 明

*会報

裏表紙 編集後記 神田 修治

PR 海上保安大学校 海上保安学校 学生募集

PR 独立行政法人 海技大学校

[No.46号 Matrix No.46\(September 1, 2004\)](#)

*第82回例会 (ISPS (国際船舶・港湾保安)コード・平成16年7月23日) 関連記事

・第82回例会概要 村上 馨

・講演資料 ISPS コードの概要 植田 馨

・講演資料 国際テロリズム概観 細野 嘉昭

・MTS 第82回例会 真夏の雑感 長尾 實三

・海賊対策の重要性 柴田 康彦

・ISPS 考-テロの脅威と倫理学 神田 修治

・新聞記事 高まるテロの脅威 h.16.8.17、産経新聞より

*海彼(かいひ)の夢 岡本 洋

*日韓海底トンネルのライバルとして日本フェリー業界の挑戦を期待して 田中 籐八郎

*山田 佑平氏のこと 田淵 丈雄

*日本造船業の現況と展望-ユニバーサル造船経営の視点 寺田 正信

*クルーズ 廣澤 明

*里海に思う 宮脇 正明

*「海の日」関連の行事 山村 晋一郎

*新聞記事 神戸空港開港へ着々 h.16.6.24、日本経済新聞(夕)より

*会報(次回例会予定 他)

裏表紙 編集後記 神田 修治

PR 第2回 船舶安全設計国際会議

PR 海上保安大学校 海上保安学校 学生募集

[No.45号 Matrix No.45\(June 1,2004\)](#)

*会員の皆様へ 原 潔

*第81回例会(琵琶湖ヨット事故と安全対策・平成16年5月10日) 関連記事

・第81回例会概要 村上 馨

・講演 琵琶湖での小型セリングクルザー「ファルコン」沈没事故の原因 池田 良穂

・講演 琵琶湖のヨット転覆事故と湖上の交通安全について 桂 陽三

・丸太でない子供の乗客定員 本田 啓之輔

- ・琵琶湖 長尾 實三
- ・琵琶湖のあだ花 塩津・敦賀間運河 山岡 元宏
- ・新聞記事 琵琶湖ヨット事故 第1回海難審判始まる h.16.5.26、産経新聞より
- ・新聞記事 丸子船で琵琶湖周航 h.16.4.7、日本経済新聞(夕)より
- *「ダイヤモンド・グレース号事件」事故原因の考察 岡本 洋
- *六本木ヒルズ回転扉事故 齊藤 了文
- *船の「初期復原力」で思い出すこと 定兼 廣行
- *海上衝突予防法(国内法)と国際海上衝突予防規則の差異 柴田 康彦
- *これからの研究会 海の日に思う 城野 隆史
- *和歌山県は海洋深層水事業の積極的推進を 田中 籐八郎
- *海の日にあたって海洋関係者による一層の広報活動努力を願う 田淵 丈雄
- *黛まどか おしやれ吟行会：神戸港を詠う 寺田 政信
- *文化 廣澤 明
- *東京国際空港「車両侵入事件」に思う 細野 嘉昭
- *会報(原 潔会長辞任、新会長に石田 憲治教授、他) *平成16年度第2回 幹事会 議事録
- 裏表紙 編集後記 神田 修治、長尾 實三
- PR 第2回 船舶安全設計国際会議
- PR びわ湖クルーズ 外輪船 MICHIGAN

No.44号 Matrix No.44(January 1,2004) 2004年新年号

- 1) 新年エッセイ
 - ・「構造改革」と「技術革新」 会長 原 潔
 - ・私の山岳レース 有田 正義
 - ・MTS研究会で人間ウォッチング 江藤 寛子
 - ・アオサ大量発生被害の現状と有効利用の可能性について 大塚 耕司
 - ・新年のご挨拶 大橋 康人
 - ・不審船沈没事件について 岡本 洋
 - ・広い海 齊藤 了文
 - ・Orange Boat の思い出 柴田 康彦
 - ・海洋国家論議に思う 城野 隆史
 - ・深日(フケ)港再開発に対する一提言
 - － テクノスーパーライナー発着基地としての活用 田中 籐八郎
 - ・造船技術・技能の伝承と保存 田淵 丈雄
 - ・日本の形・日本人の型を考える 寺田 政信
 - ・新春雑感 日本の技術力 長尾 實三
 - ・CRM とは何か? 廣澤 明
 - ・新年ご挨拶：近況報告 星野 裕志
 - ・海辺のゴミ 宮脇 正明
 - ・MTS研究会への願い事 山村 晋一郎
- 2) 第80回例会(15周年記念・平成15年12月3日)概要 村上 馨
 - 記念講演会資料 造船産業競争力強化に貢献する研究開発 中西 堯二
- 3) 会報(①幹事会報告、②新会長に原 潔氏 就任記事 他)

- ・平成 15 年度第 2 回幹事会 議事録
- ・好評頒布中 MATRIX 海上交通システム研究会ニューズレター No.43 号
「海上交通システム研究会発足 15 周年 第 80 回例会記念特集号」

裏表紙 編集後記 神田 修治 長尾 實三

PR 「船と海のサイエンス」第 6 号秋季号 (独) 海上技術安全研究所
(紹介) 神戸商船大学は神戸大学海事科学部となりました 神戸大学 西川 榮一

[No.43 号 Matrix No.43\(December 1,2004\)](#) 発足 15 周年第 80 回例会 記念特集号

「過去に学ぶこと」の難しさ 会長 原 潔

I 海難事故の教訓

- 1) Derbyshire 号事件 城野 隆史
- 2) なだしお事件の特殊性と航法の適用 田川 俊一
- 3) Exxon Valdez 原油流出事故 長谷川 和彦
- 4) エストニア号沈没事故のその後 池田 良穂
- 5) ナホトカ号事故のこと 在田 正義
- 6) ダイヤモンド グレース号座礁事件 大津 皓平
- 7) 高速カタマラン Spleiner 号沈没事故 岡本 洋
- 8) えひめ丸沈没から 3 年目 石田 憲治
- 9) プレステイジ号事故について 吉田 公一
- 10) 放置座礁外国船問題について 岩尾 雅之

II 海難事故に関する「会員の声」

- 1) 保険と RM (リスクマネジメント) と CSR (企業の社会的責任) 大橋 康人
- 2) 海難事故の教訓 岡田 紀代蔵
- 3) 船舶安全と技術者の創意工夫 神田 修治
- 4) 海難事故と自動車事故 齊藤 了文
- 5) AIS に期待する 柴田 康彦
- 6) 海難事故と安全論雑感 田中 藤八郎
- 7) 科学技術は万能ではない事を自覚しよう 田淵 丈雄
- 8) ナホトカ号の事故と海の道 寺田 政信
- 9) 1997 年の 2 つの石油流出事故について 藤田 恒美
- 10) 海難審判の証拠の信憑性 堀江 孟史
- 11) HUMAN ERROR と訓練 細田 龍介
- 12) 洞爺丸 近藤船長の無念の涙 本田 啓之輔
- 13) 沿岸漁業の現場から海難事故を考える 鷲尾 圭司

III 15 年のあゆみ

第 1 回～80 回例会活動 (講演、討論会等 テーマ / 発表者一覧)

刊行書籍 (「人・船・環境」、「輝け! 内航海運」) 本研究会規約

裏表紙 (見返し) 編集後記 (あとがき) 長尾 實三

[No.42 号 Matrix No.42\(October 1,2003\)](#) 石谷会長 辞任 / 工作船特集

- 1) 石谷 清幹 先生 会長辞任 後任は原 潔 先生 長尾 實三
- 2) 石谷 清幹 先生 略歴

- 3) 第 79 回例会（北朝鮮工作船 見学会・平成 15 年 9 月 11 日）概要 村上 馨
 講演要旨 不審船の最近の動向と対策 横山 鐵男
 講演者 横山 鐵男氏 略歴
 例会、懇親会写真 提供 工藤 栄介
 工作船の全て (財) 海上保安協会
- 4) 不審船に対する海保 OB の懸念と期待 山村 晋一郎
- 5) 北朝鮮工作船の展示について (財) 海上保安協会 業務・国際部長 宮本 武昌
 添付： 「来年 2 月まで延長」 海上保安新聞 9 月 25 日
 「工作船保存に汗」 日本経済新聞 9 月 17 日
- 6) 「国家犯罪の証拠、工作船の永久保存を」 産経新聞 9 月 19 日
- 7) 危険船舶の岸壁使用制限について 茨城県土木部技監兼港湾課長 渡辺 一夫
- 8) 商船大学 2 校、それぞれ統合し今日発足 海事プレス 10 月 1 日
- 9) 会報（①幹事会報告、②次回例会予定、③MATRIX 特集号発行計画 他）
 平成 15 年度：第 1 回幹事会 議事録
 2002 年度収支決算報告
- 10) 海上交通システム研究会規約
 裏表紙 編集後記 長尾 實三
- PR 「Ship & Ocean Newsletter」編集部からのお知らせ
 「船と海のサイエンス」第 5 号夏季号発売 (独) 海上技術安全研究所

[No.41 号 Matrix, No.41\(Aug. 1, 2003\)](#)

- 1) 第 78 回例会（平成 15 年 6 月 20 日）
 例会概要 村上 馨
 講演要旨 領海警備について 村上 曆造
 講演要旨 海運特区を神戸に作り日本海運の強化と船員雇用を創造しよう 岡田 紀代蔵
 講演者のご紹介
 紹介 図書「現代の海洋法」
- 2) 第 78 回例会に関する感想・意見
- ・「海運特区」構想：理念と具体策は何か 城野 隆史
 - ・第 78 回 MTS 例会所見 山村 晋一郎
 - ・領海警備一考 細野 嘉昭
 - ・「港湾特区」構想の限界と期待 岡本 洋
 - ・神戸海運特区構想に期待する 神田 修治
 - ・「海運特区」に対する一般の理解度 大野 道夫
 - ・「海運特区を神戸に作ろう」をサポート 村上 馨
 - ・便宜置籍船と「海運特区」雑感 田中 藤八郎
 - ・領海警備と PSC 宮脇 正明
- 3) 縄文時代の海上交流（縄文時代の謎に迫る） 寺田 政信
- 4) 新聞記事
- ・「北工作船」小泉首相視察 (h.15.7.3)、石原都知事視察 (h.15.7.19)、産経新聞
 - ・尖閣諸島抗議船 日本領海に侵入、日本経済新聞、h.15.6.23
 - ・脅かされる海底の権益、産経新聞、h.15.5.26

・資源“数十兆円”眠る「大陸棚」領土化の夢 省庁の壁、産経新聞、h.15.7.26

・「北」貨物船無責任ぶり、産経新聞、h.15.7.4

・クルーズで思った水都・大阪の復権、産経新聞、h.15.7.11

5) 会報 (①79回例会予定、②MATRIX 特集号発行計画 他)

編集後記 長尾 實三

PR 「Ship & Ocean Newsletter」編集部からのお知らせ

「船と海のサイエンス」第5号夏季号発売 (独) 海上技術安全研究所